

病児保育室だより No.4.健康と病気～子どもの免疫カ～

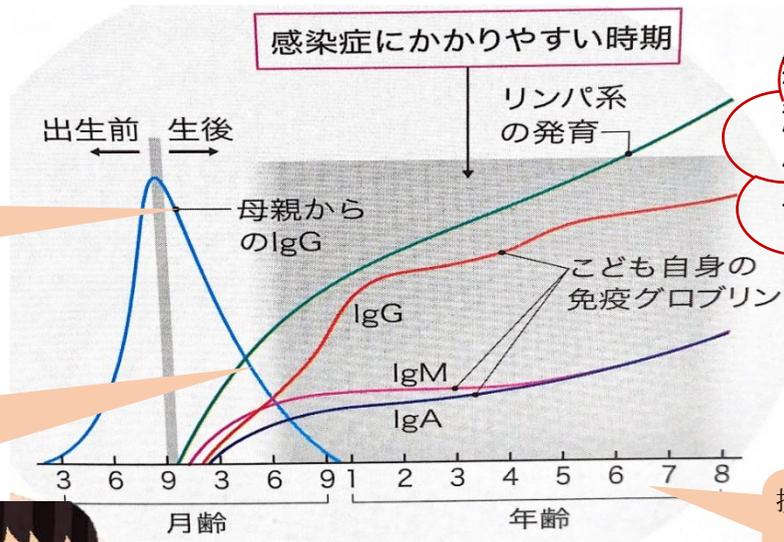
今回は健康と病気についてお伝えします。子どもが病気になると「かわいそう」「病気は悪いこと」とマイナスイメージを持たれる方も多いのではないかと思います。しかし”病気=悪”ではなく、子どもは健康と病気を交互に繰り返し、日々成長し免疫力を育てていきます。

グラフ：免疫力の変化



お母さんが持っている免疫をもらうことで病気になっても守られている。

お母さんの抗体効果が薄れるため、病気にかかりやすくなる。例えば、生後6ヶ月～2歳の間には“突発性発疹”にかかりやすい。初めてかかる病気の代表格で、主な症状は発熱と下熱後の発疹がある。



病気の時には子どもが強くなるため頑張っているのです、周りの人は重症化を防ぎ子どもをうまくサポートしてあげることが大切です！



抗体が成人レベルになってくるため、感染症にかかりにくくなる。



予防接種を受けましょう！！



予防接種の効果を発揮させるためには、生後2ヶ月になったらすぐ予防接種を開始することが大切です！！

予防接種による副反応が不安な方もいらっしゃると思います。しかし、感染症にかかり重症化するリスクを考えると予防できる病気はワクチン接種で予防するのが最善の方法であると思います。予防接種について不安や気になることがあれば医師に相談しましょう！



医)慈慧克会

二星こどもクリニック併設型施設

病児保育室かけっこ 理事長 二星あゆみ

住所:神戸市灘区御影2-2-5 パーチェ御影401号室

予約・問い合わせ 080-8948-5757



今回は・・・

発熱時の対応についてお伝えします！！



<参考・引用>

岡山の医療健康ガイド MEDICA HP「小児科医のみたこどもの森(1)新垣義夫」 R3/9/2 アクセス

こどもの病気の地図帳 講談社 P7「発育期からみる<こども>のからだと病気

ドクターズファイル HP 「突発性発疹(小児バラ疹)」 R3/9/2 アクセス